



有限会社ワイ・イー・ワイ 代表取締役 和田裕助 — 最新情報 (2025年8月時点)

プロフィールと経歴

- 和田裕助 (Yusuke Wada) は、神奈川県茅ヶ崎市出身の実業家で、葬祭業専門システムインテグレーター「有限会社ワイ・イー・ワイ」の代表取締役。
- ボストン大学工学部電気学科卒。日本人卒業者は過去50年でも極めて少ないという希少な学歴。
- もともとは精密機器メーカー（例：ミノルタカメラ）でプリンターやコピー機のエンジン及びコントローラ開発に長年従事。のちにAdobe社のPostscript言語ポーティング会社で技術サポートも務める（米国シリコンバレー経験あり）。
- 100年以上続く葬儀社の家系出身で、家業の葬儀社を継いだ後、2000年9月に「有限会社ワイ・イー・ワイ」を設立し、DX（デジタル化）推進と業界改革に取り組む。[\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#)

活動領域と専門性

- 葬祭業DX化支援、葬儀社向け業務システム導入やコンサルティング、M&A、デジタルエンディングノート、AI・ブロックチェーン技術などを国内外で展開。
- Death Tech（次世代供養サービス）のマーケター。
- ブロックチェーンを使った「ネット墓」「デジタル墓誌」の企画・販売も実施。
- 葬儀社のブランディング、集客、YouTube動画制作、ブログ運営（[jfuneral.com](#)）、教育活動（AIセミナー、年間50件以上ネット講習会）。
- 介護・福祉分野への事業拡大として、老人ホーム・認知症予防・地域コミュニティ型システムの提供。[\[5\]](#) [\[3\]](#) [\[6\]](#) [\[1\]](#)

最新動向

- 2025年7月**：葬儀社としての本格活動を再開。AIやWeb3技術を活用した供養支援に注力。
- 2024～2025年**：スマートシニア株式会社やベトナムのSOTATEK社など海外企業との業務提携を拡大。ブロックチェーンを使った永続的ネット墓の販売強化。
- SNS・マーケティング**：LINE公式アカウント認証完了（2025年5月）。AIセミナー・ビジネスワークショップの案内をLINEやメルマガで配信。
- 女性専用シェアハウス（青森県八戸市など）支援やウェルビーイング推進、地域コミュニティ活性化など社会的課題にも積極的に寄与。[\[3\]](#) [\[7\]](#) [\[6\]](#) [\[1\]](#)

書籍・メディア・学会

- 著書：「死神と呼ばれた男」（2021年出版、日本語・英語版あり）。
- 日本葬送文化学会 副会長（2022年度～）、葬送ビジネス・ポッドキャスター、ブログ・YouTubeのメディア発信者。^{[4] [7] [3]}

まとめ

和田裕助さんは、テクノロジーと葬送文化の両面で日本の葬祭業界を牽引するイノベーター。AI、Web3、Death Tech活用によるDX推進、社会課題解決への取り組みを精力的に続けています。2025年時点でも、新たなビジネスモデルの創出と社会貢献活動を拡大中です。

参考更新履歴：

- 2024年4月時点と比較し、2025年はAI・ネット墓分野へのシフトや女性支援、LINE認証、セミナー強化など複数のアップデートが確認できます。^{[7] [6] [1] [5]}

主な情報ソース：

^{[2] [6] [1] [5] [3] [4] [7]}

※各情報は公式サイトおよび業界ブログ・メディア記事（2025年7月～8月公開分）より構成

※

1. <https://yey.co.jp/about/>
2. <https://jfuneral.com/about/>
3. <https://note.com/yeyshonan/n/n07de49c2b270>
4. <https://jfuneral.com/wp-content/uploads/2023/02/YEY-和田裕助-2023.pdf>
5. <https://yey2025-h1wtrzq.gamma.site>
6. <https://yey.co.jp>
7. <https://note.com/yeyshonan>